

イザイをほんの前菜のように軽々とやってのけるのではなく、バラーティは並はずれた強烈さで、あたかもオーケストラが持つ表現の幅で作品に切り込んでいく。その姿は、ほとんど動くこともなく、瞳を閉じて、ただソナタの演奏に自ら没頭しているように見える。控えめで、うわべのショーマンシップに頼らないその姿から、音楽が予期せぬ力を持って立ちあがってくる。

バラーティのバッハには目からうろこが落ちるとしか言いようがない。バラーティの演奏を言葉にすると、厳格であり、瞑想的であり、まれにみる由緒正しさと巨匠性を兼ね備えている。

(ワシントンDC フィリップ・コレクションリサイタル 2015年1月ワシントン・ポスト紙)



クリストフ・バラーティ KRISTÓF BARÁTI, VIOLIN

1979年ブダペストにてチェリストの父とヴァイオリニストの母のもとに生れる。幼少期の多くをヴェネズエラで過ごし、8歳の時にマラカイボ交響楽団と共演を果たした。

母親とエミール・フリードマンよりヴァイオリンの手解きをカラカスで受けた後、ブダペストのフランツ・リスト音楽院でミクローシュ・セントハイ、ヴィルモシュ・タートライに師事、研鑽を積む。

1996年ロン・ティボー国際音楽コンクールの際に、ストラディヴァリウス協会のディレクターであるエドワード・ウルフソンに見出され、それ以来、音楽のみならず多面において彼の薫陶を受けている。ウルフソンは、師であったユーディ・メニューイン、ナタン・ミルシテイン、ヘンリク・シェリングらの教えをバラーティに伝授している。

2010年第6回パガニーニ・モスクワ国際ヴァイオリンコンクールで第1位。2011年には、ハンガリー政府より権威ある「リスト賞」を授与され、さらに2014年には、ハンガリーにおける最高位の芸術賞である“コシュート賞”を受賞している。

これまでにデュトワ、スピヴァコフ、マズア、ヴァシリー・ペトレンコ、テミルカーノフ、ヤノフスキ、フルシヤ、大植英次らのもと、ハンガリーの全てのオーケストラや室内オーケストラをはじめ、ベルリン放送響、フランス国立放送フィル、ロシア・ナショナル管、ハノーファー北ドイツ放送フィル、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管などと共演、常に高い評価を獲得している。2015/16シーズンにロンドン・フィルハーモニー管弦楽団と初共演、2016年9月にはウラディミール・ユロフスキのもと同楽団とハンガリーツアーで再度の共演を果たした他、ゲルギエフ指揮マイリンスキー歌劇場管弦楽団とのロンドン公演も実現。ゲルギエフとは近年非常に緊密な関係を築いており、上海へのツアー等を含む数多くの公演に招かれている。

リサイタル活動や室内楽での活動も活発で、11歳の時にモンペリエでラジオ・フランス主催の音楽祭でフランスでのリサイタルデビューをして以来、ヨーロッパ全土そして全米で、数多くの演奏会に招かれている。2016年にはヴェルビエ音楽祭に招かれ、バッハの無伴奏ソナタ、パルティータの演奏でセンセーショナルなデビューを飾った。

すでに数多くの録音を残しており、モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲全曲、ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ全曲、ブラームス：ヴァイオリンソナタ全曲、イザイ：無伴奏作品集、バッハ：無伴奏ソナタ・パルティータ全曲、パガニーニ、ヴァイオリン協奏曲第1番、第2番、コルンゴルド：ヴァイオリン協奏曲等をリリースしている。

最新のアルバム、ヴァイオリン小品集では、グラモフォン誌から、「愛らしく、アクロバティックなヴァイオリン作品を愛好する聴き手にとっては、バラーティの演奏に勝るものはない。」と評された。

使用楽器は、シカゴのストラディヴァリウス協会貸与による1703年製ストラディヴァリウス“レディ・ハームズワース”。

公式ホームページ：<http://kristofbarati.com/>

くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間：10:00～18:00
年中無休（年末年始、施設メンテナンス日を除く）

交通アクセス
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分



宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。